



発注図を開くガイド編

〔発注図を開くガイド〕の機能について概要と使用手順を説明します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。

目次

発注図を開くガイド編

1. [発注図を開くガイド] の概要	1
1-1 特徴（利点）	1
1-2 機能紹介	1
2. 発注図（平面図）を開く	2
3. 発注図（横断図）を開く	6
4. 発注図（縦断図）を開く	10

1

【発注図を開くガイド】の概要

1-1 特徴（利点）

- 一連の流れでファイルの取り込みから用紙の設定、縮尺や原点を合わせることができます。
- 縮尺に応じて図面サイズを変更することができます。
- 縦断図で原点を補正ことができ、3次元設計データや縦断線形の作業に役立ちます。

1-2 機能紹介

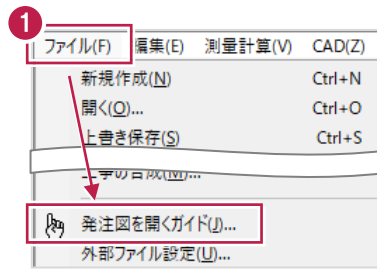
コマンドを実行すると画面左にガイドバーが表示されます。

用紙を決める	用紙サイズを設定します。 [設定] — [用紙設定]
ファイルを開く	発注図ファイルを開きます。 [設定] — [外部ファイルを開く]
図面を指定する	取り込む図面の種類を選択します。 選択する図面によって、縮尺、原点補正の設定が制限されます。 必要としない設定がディセーブル（非選択）になります。
縮尺を確認する	距離のわかる図面上の2点を指定して縮尺を確認します。 [ツール] — [計測] — [2点間の距離方向角]
補正する	■縮尺を補正する 縮尺を合わせます。 [設定] — [縮尺追加] — [CAD指定] [データ編集] — [縮尺編集] — [縮尺編集] ■原点を補正する 原点を合わせます。 [データ編集] — [縮尺編集] — [縮尺編集]
縮尺を再確認する	補正した縮尺を再確認します。 [ツール] — [計測] — [2点間の距離方向角]
終了	発注図を開くガイドを閉じます。

2

発注図（平面図）を開く

- ① [ファイル] - [発注図を開くガイド] をクリックします。

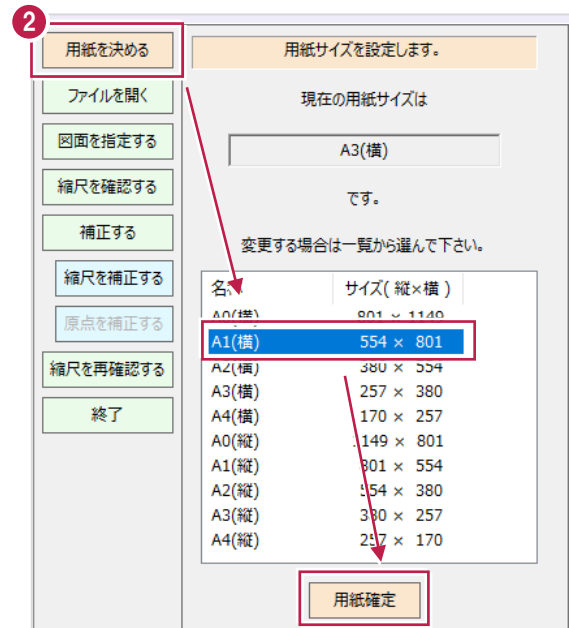


- ② 左にガイドバーが表示されます。

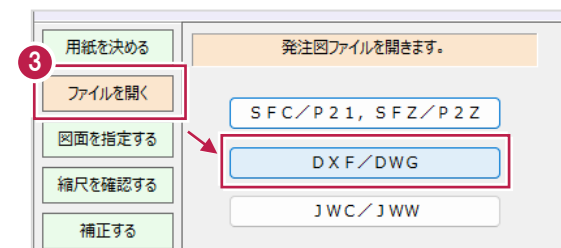
ガイドバーの上から順に作業を行います。サイズや縮尺、座標系などを合わせたり、選んだ用紙に入っているように調整したりすることができます。

[用紙を決める] をクリックして、用紙サイズを指定し、[用紙確定] をクリックします。

※用紙サイズは図面読み込み後にも変更できます。



- ③ [ファイルを開く] をクリックし、読み込む図面の種類をクリックします。

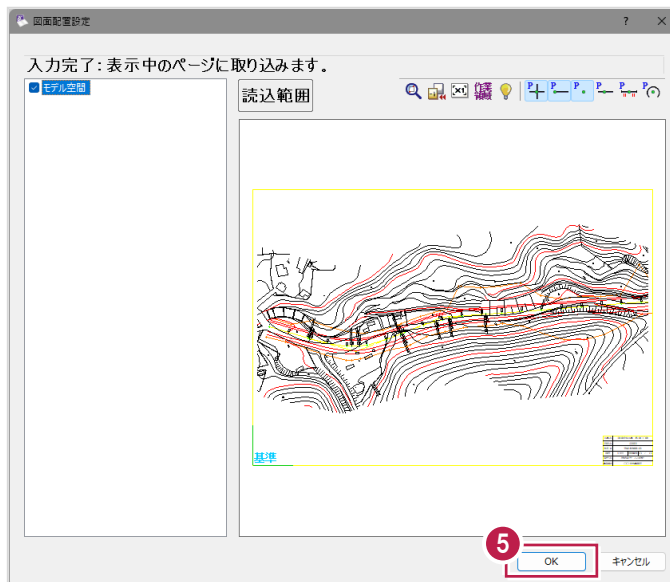
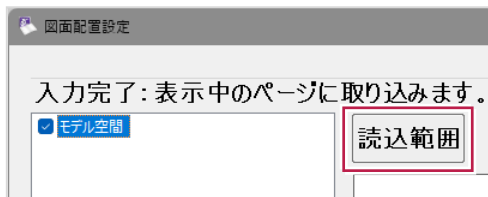


- ④ 読み込む図面ファイルを指定して [開く] をクリックします。

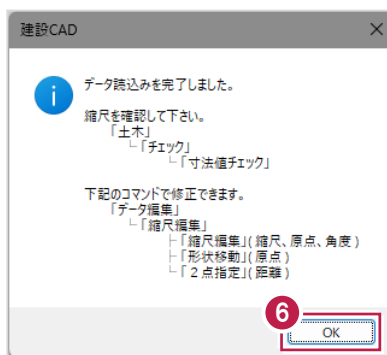


- 5 読み込む図面の内容を確認して [OK] をクリックします。

※表示されている図面の一部を読み込む場合は [読込範囲] で範囲を指定します。



- 6 [OK] をクリックします。

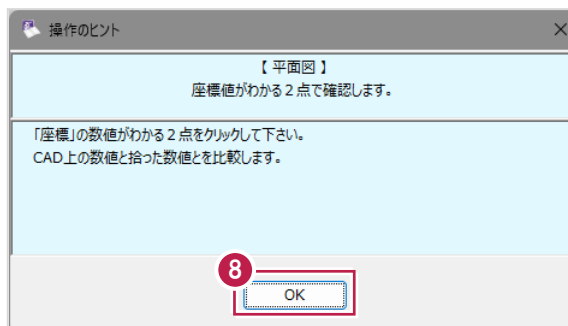


- 7 開いた図面の種類を選択します。

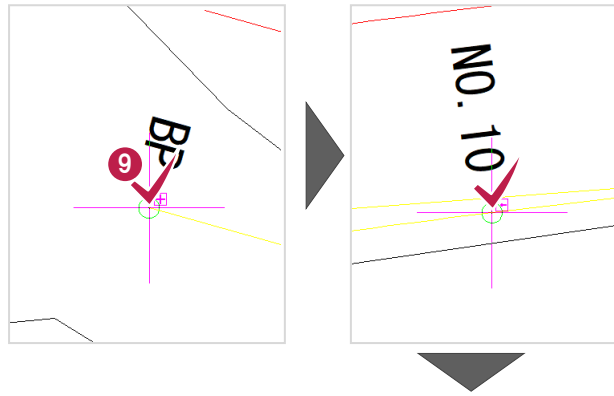
[図面を指定する] をクリックして [平面図] [縮尺確認へ] をクリックします。



- 8 [OK] をクリックします。



- 9 図面上の座標値が分かっている 2 点をクリックします。



- 10 【図面から取得する値】欄に本来の座標値が表示されていない場合は【縮尺補正へ】をクリックします。

	X座標	Y座標
点1	0.278 m	0.033 m
点2	0.300 m	0.419 m

【解説】
図面上の座標の数字と、マウスで取った点の座標値が2点とも同じなら、座標値が一致します。

2点とも本来の座標値が表示されている場合は、以降の手順は不要です。

- 11 【OK】をクリックします。

- 9 で 2 点は指定済みなので、座標値の入力に移ります。

【平面図】
縮尺を調節します。

「座標」の数値がわかる 2 点をクリックして下さい。
「縮尺確認」で指定済みなら、実際の座標値をボックスに入力して下さい。
「点」ボタンを押すと、指定点付近を拡大表示します。
「座標一覧から取得」がオンの時、登録済みの座標値から入力できます。
「CADから取得」がオンの時、CAD上の数字を入力できます。

OK

- 12 9 で指定した 2 点の座標値をそれぞれ入力して【座標確定】をクリックします。

	X座標	Y座標
点1	-116079.411 m	-83131.082 m
点2	-115906.838 m	-83043.954 m

▼座標確定▼

【設定する縮尺】
縮尺名称 モデル空間 1/1

縮尺 1 / 500 計測値 1/500

原点X座標 -116163.390 m
原点Y座標 -83019.015 m
回転角 60.0000 度

<対象> 文字 マーク 矢印

縮尺確定

現状の縮尺が【計測値】に表示されます。

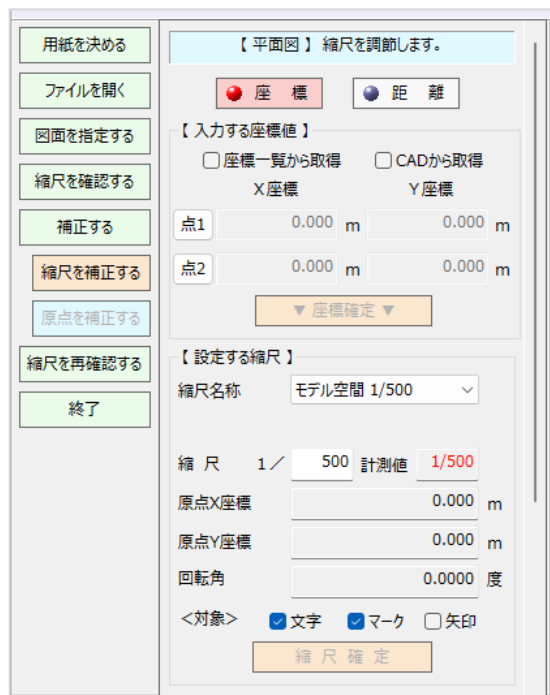
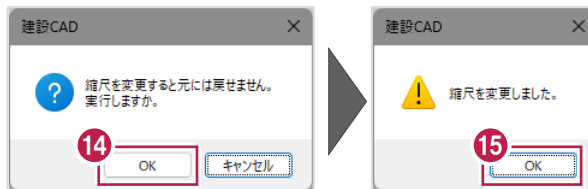
縮尺がない場合は、手入力してください。

- 13 【縮尺】が「1/500」になっていることを確認して【縮尺確定】をクリックします。

14 [OK] をクリックします。

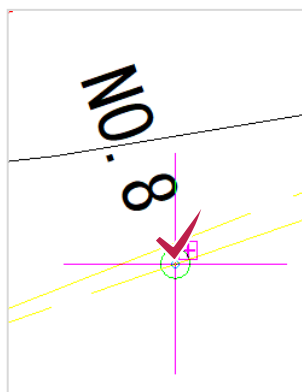
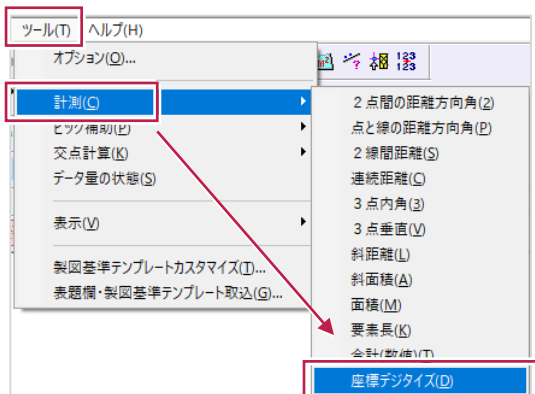
15 [OK] をクリックします。

確認・変更作業終了です。



補足 座標値等の確認について

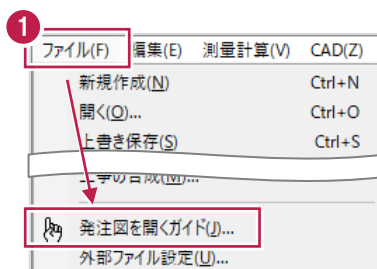
[ツール] - [計測] - [座標デジタイズ] を使用すると、クリック位置の座標値を確認することができます。



3

発注図（横断図）を開く

- ① [ファイル] - [発注図を開くガイド] をクリックします。

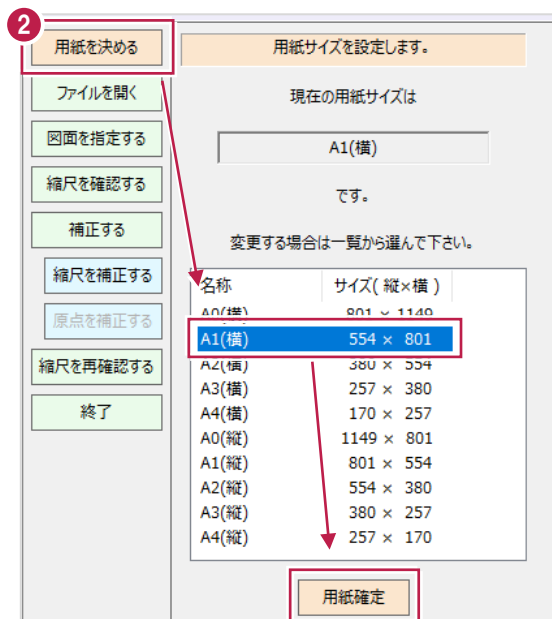


- ② 左にガイドバーが表示されます。

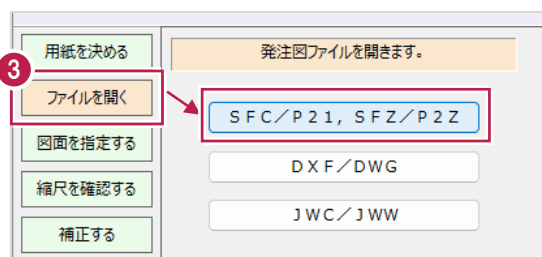
ガイドバーの上から順に作業を行います。サイズや縮尺、座標系などを合わせたり、選んだ用紙に入るように調整したりすることができます。

[用紙を決める] をクリックして、用紙サイズを指定し、[用紙確定] をクリックします。

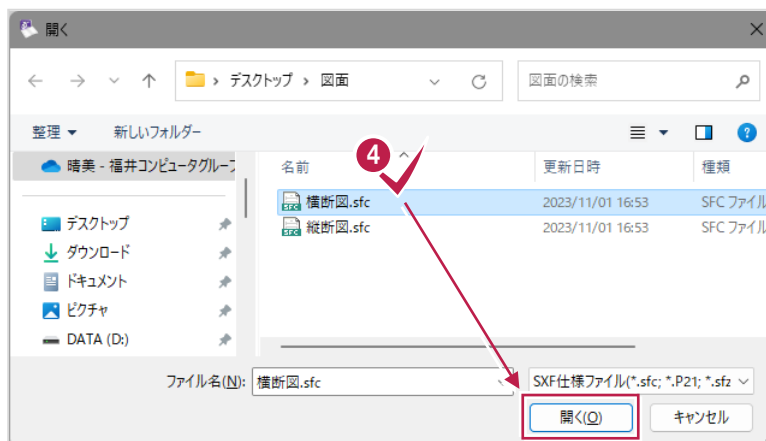
※用紙サイズは図面読み込み後にも変更できます。



- ③ [ファイルを開く] をクリックして、読み込む図面の種類をクリックします。



- ④ 読み込む図面ファイルを指定して [開く] をクリックします。

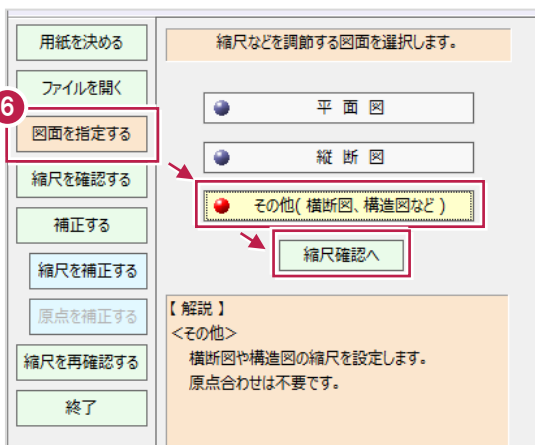


5 [OK] をクリックします。

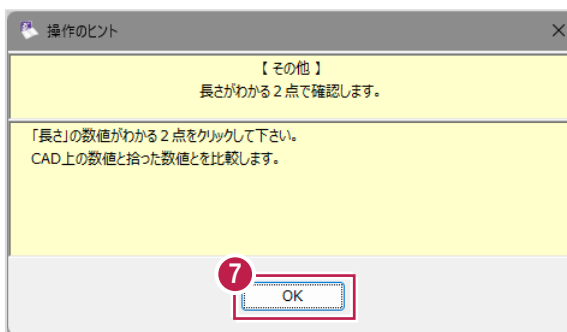


6 開いた図面の種類を選択します。

[図面を指定する] をクリックして [その他 (横断面図、構造図など)] [縮尺確認へ] をクリックします。



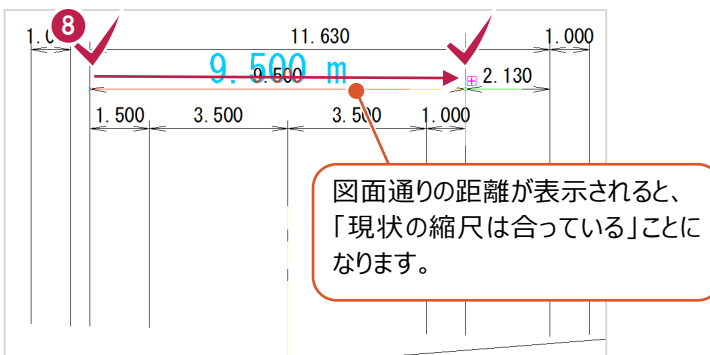
7 [OK] をクリックします。



8 水平距離の寸法線の矢印間などクリックして表示される距離を確認します。

端数のない寸法値を指定することをお勧めします。

※右例は「縮尺が合っている図面」ということになります。

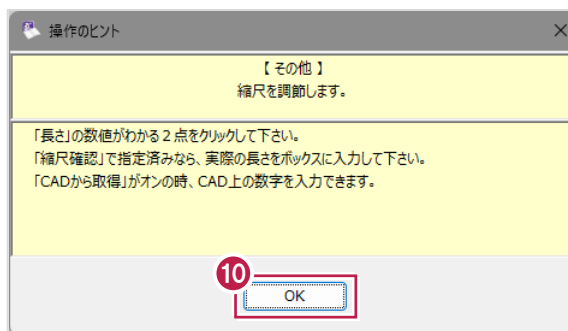


- ⑨ 縮尺を変更する作業に移ります。
 [縮尺補正へ] をクリックします。



- ⑩ [OK] をクリックします。

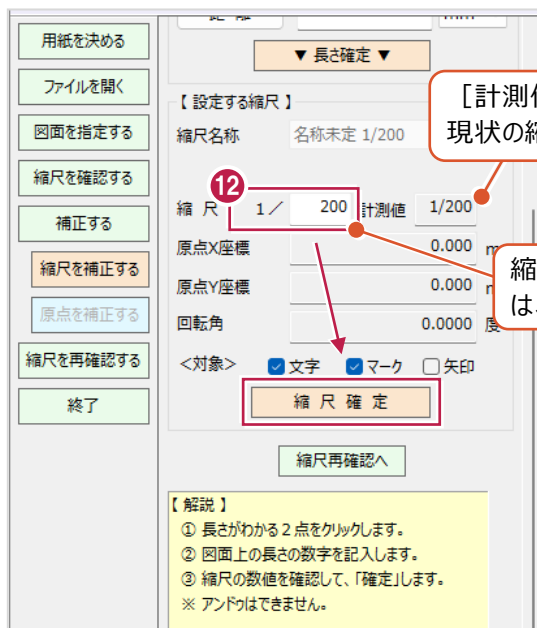
⑧ で 2 点は指定済みなので、実際の長さを
 入力します。



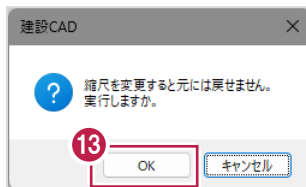
- ⑪ [距離] 欄に図示されている寸法通りの距離
 を入力して [▼長さ確定▼] をクリックします。



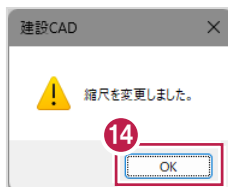
- ⑫ [縮尺] が「1/200」になっていることを確認し
 て [縮尺確定] をクリックします。



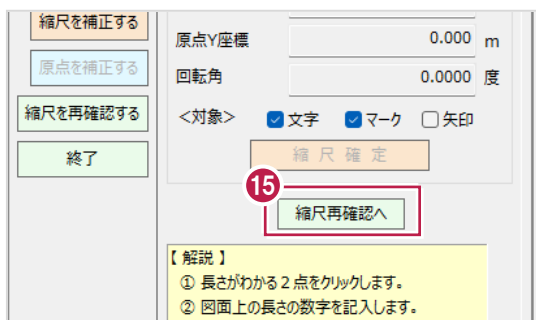
13 [OK] をクリックします。



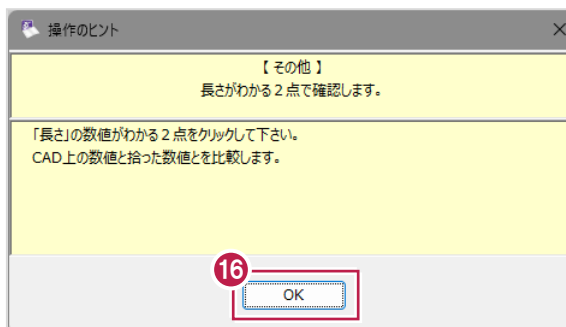
14 [OK] をクリックします。



15 設定後の図面の点間距離を確認します。
[縮尺再確認へ] をクリックします。

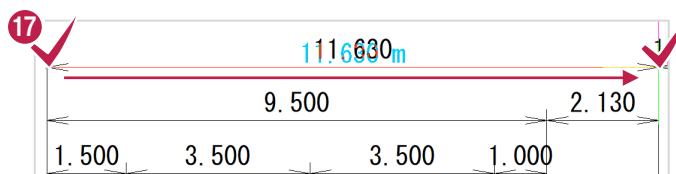


16 [OK] をクリックします。



17 8 と同様に寸法値通りの距離が表示されるかを確認します。

本来の値が表示されない場合は [縮尺補正へ] から設定をやりなおします。



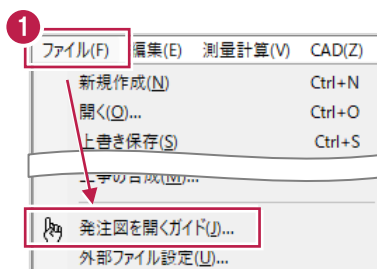
18 確認作業を終えたら [終了] をクリックして [発注図を開くガイド] を閉じます。



4

発注図（縦断図）を開く

- ① [ファイル] - [発注図を開くガイド] をクリックします。

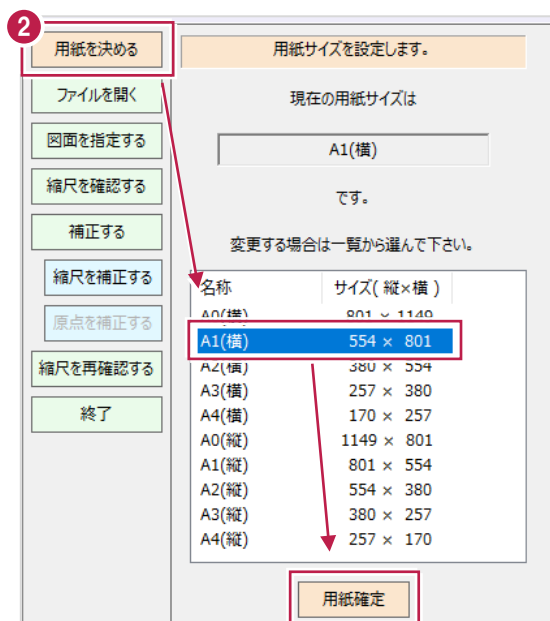


- ② 左にガイドバーが表示されます。

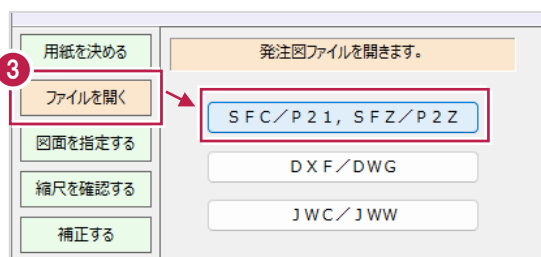
ガイドバーの上から順に作業を行います。サイズや縮尺、座標系などを合わせたり、選んだ用紙に入っているように調整したりすることができます。

[用紙を決める] をクリックして、用紙サイズを指定し、[用紙確定] をクリックします。

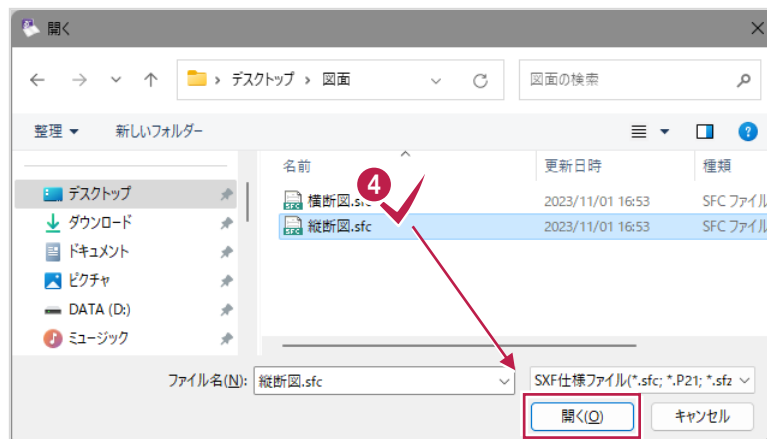
※用紙サイズは図面読み込み後にも変更できます。



- ③ [ファイルを開く] をクリックし、読み込む図面の種類をクリックします。



- ④ 読み込む図面ファイルを指定して [開く] をクリックします。

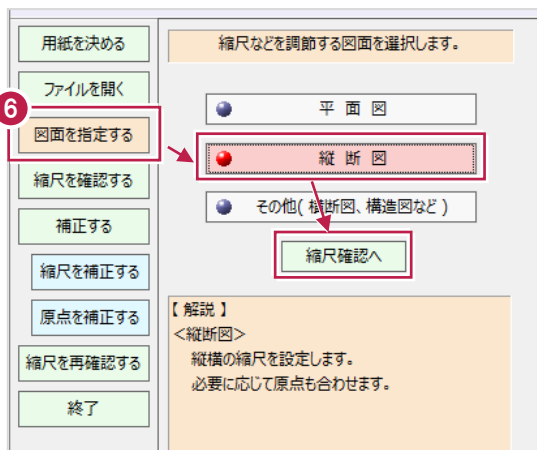


5 [OK] をクリックします。

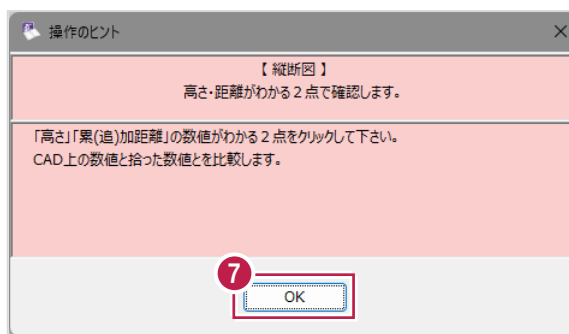


6 開いた図面の種類を選択します。

[図面を指定する] をクリックして [縦断面図]
[縮尺確認へ] をクリックします。

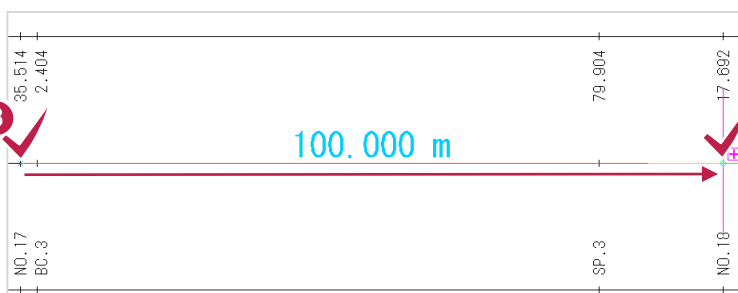
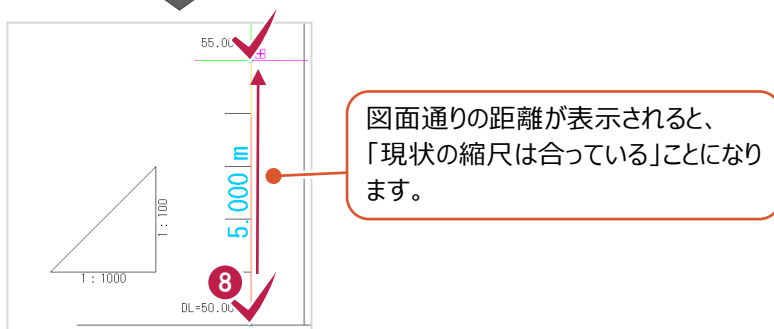


7 [OK] をクリックします。



8 縦目盛間や単距離 (追加距離) 間をクリックして表示される距離を確認します。

※右例は「縮尺が合っている図面」ということとなります。



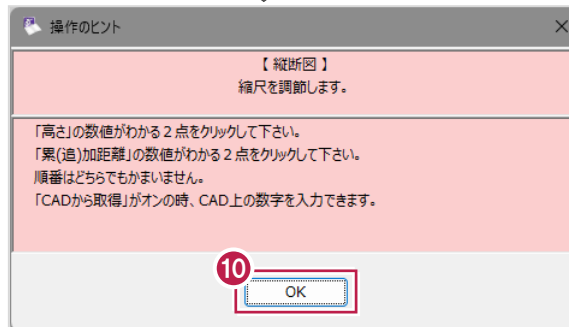
9 縮尺を変更する作業に移ります。

[縮尺補正へ] をクリックします。

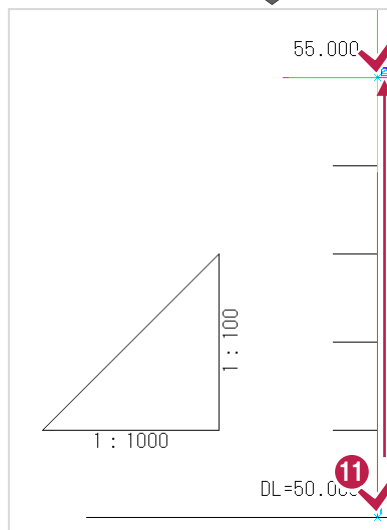


10 [OK] をクリックします。

「水平方向」「垂直方向」で、縮尺確認を行います。



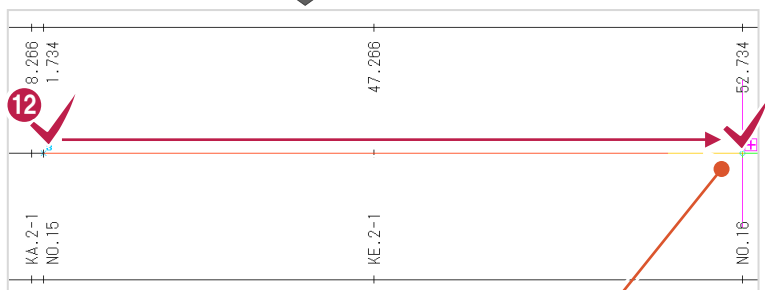
11 縦目盛上で2点をクリックします。



12 帯上の単距離（追加距離）欄にある縦線の位置を2箇所クリックします。

※測点間の20mのように端数のない距離を指定することをお勧めします。

※ 11 と 12 の手順はどちらが先でも構いません。



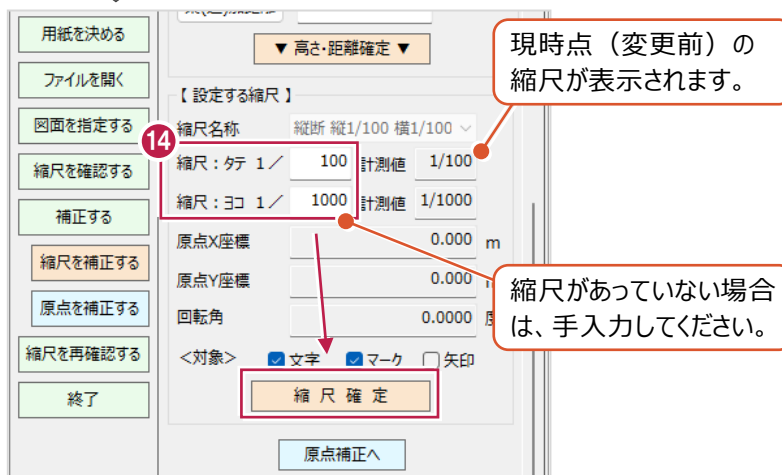
短い縦線と帯の横線の交点をピックします。



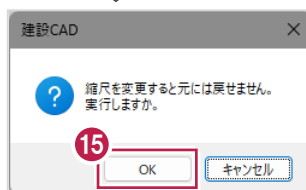
- 13 11 と 12 で指定した点間距離を [高さ] [累 (追) 加距離] 欄に入力して [高さ・距離指定] をクリックします。



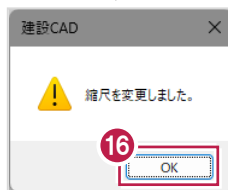
- 14 [縮尺 : タテ] が「1/100」、[縮尺 : ヨコ] が「1/1000」になっていることを確認して [縮尺確定] をクリックします。



- 15 [OK] をクリックします。



- 16 [OK] をクリックします。



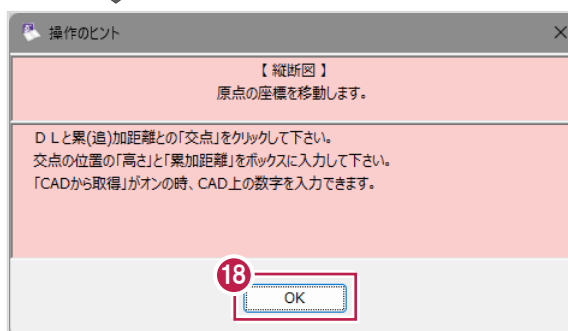
- 17 次に「原点」の補正を行います。「原点」を調整すると [測量計算] - [縦断線形] や [3次元設計データ作成] を作業する場合に入力データと図面を重ね合わせて確認することができます。

[原点補正へ] をクリックします。

※不要な場合は 23 から操作してください。



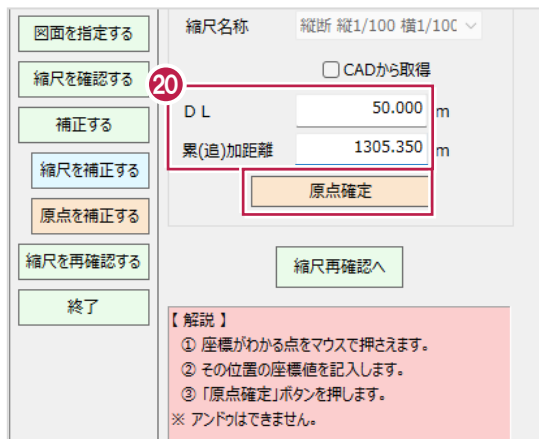
- 18 [OK] をクリックします。



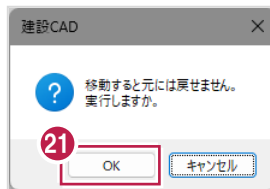
- 19 高さのわかる水平線と、追加距離がわかる垂直線の交点をクリックします。
 ※高さと追加距離を同時に指定できる箇所をクリックします。



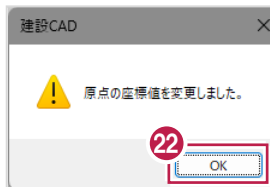
- 20 19 でクリックした位置の高さと追加距離を [DL] 欄、[累 (追) 加距離] 欄に入力して [原点確定] をクリックします。



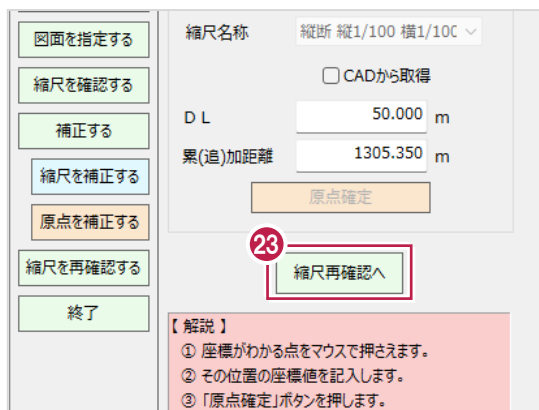
- 21 [OK] をクリックします。



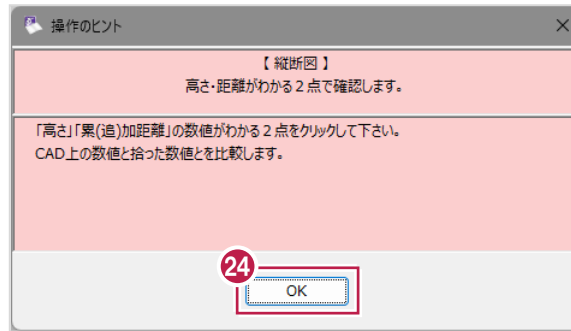
- 22 [OK] をクリックします。
 ※図面の見た目は変更ないが、原点情報は更新されます。



- 23 設定後の図面の点間距離を確認します。
 [縮尺再確認へ] をクリックします。



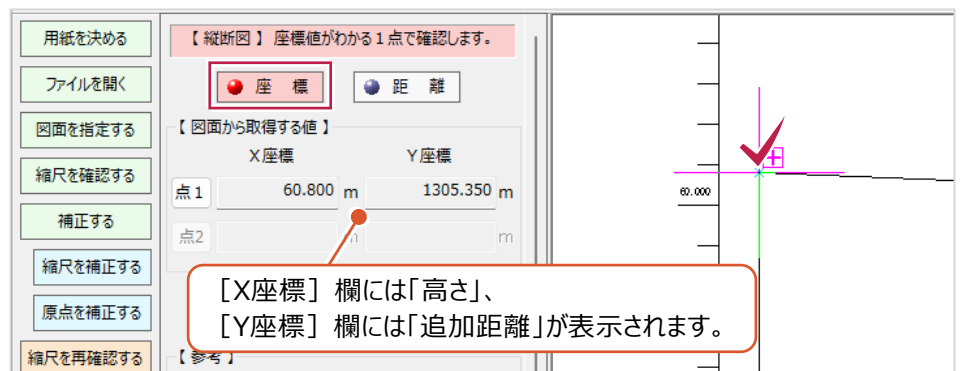
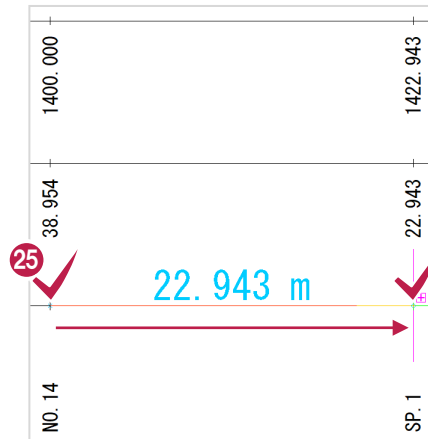
24 [OK] をクリックします。



25 11 と 12 で指定していない 2 点間を指定し、表示される距離が本来のものであるかを確認します。

17 で [原点補正] を設定していた場合は [座標] を ON にすると「縦断面図上でクリックした位置の高さと追加距離」を確認できます。

本来の値が表示されない場合は [縮尺補正へ] から設定をやりなおします。



26 確認を終えたら [終了] をクリックして [発注図を開くガイド] を閉じます。

